

科名 呼吸器内科
 対象疾患名 非小細胞肺癌
 プロトコール名 **テセントリク+PTX+CBDCA+BEV(アロカリス併用)**

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	テセントリク 生食	1200mg/body 250mL	医師の指示通り 専用ルートJY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ	↓						
3	点滴注	側管	ベバシズマブ 生食	15mg/kg 100mL	医師の指示通り	↓						
4	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ アロカリス デキサート ファモチジン	0.75mg 235mg 19.8mg 20mg	30分かけて	↓						
5	点滴注	側管	ネオレスタール 生食	10mg 50mL	30分かけて	↓						
6	点滴注	側管	パクリタキセル 生食	175mg/m ² 500mL	3時間以上かけて 専用ルート使用 ※壊死性抗がん剤	↓						
7	点滴注	側管	カルボプラチン 生食	AUC6 250mL	60分かけて	↓						

★1クール=21日

～MEMO～

推奨レベル(30%～90%)

day2-4にデキサート錠を朝、昼食後に4mg/回

4コース又は6コースまで

<テセントリク>

投与速度:初回60分,忍容性良好であれば2回目以降30分まで短縮可

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害
 infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症
 インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<ベバシズマブ>

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可

<パクリタキセル>

禁忌:薬剤アレルギーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルギーの確認要
 アレルギー好発時期:初回,2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)
 前投薬の注射のデキサートは2コース目以降は13.2mgとする。